



1月の園だより



令和5年1月4日
目黒区立鷹番保育園園長

あけましておめでとうございます

ご家族で穏やかなお正月を過ごされたことと思います。今年も保護者の方々と共に子どもたちの健やかな成長を見守り、笑顔いっぱいの一年にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

12月には大きくなったね会があり4,5歳児が劇や歌、合奏を披露しました。子どもたちは緊張しながらも表現を楽しむ姿があり、保護者の皆様と成長を喜び合うことができました。行事のたびに「がんばったねとギュッと抱きしめてあげてください」と保護者の方にお願ひをしていますが、皆さん実行してくださり、次の日誇らしげに「いっぱいギュしてもらったよ」と報告してくれる子どもたちでした。友達同士でも「セリフの言い方がかっこよかった」「すごいなって思った」「きれいな音だった」と言われるなど、おうちの方や友達にがんばったことを認めてもらいまたひとつ自信につながっているようでした。翌日からは役や楽器を交代して楽しむ姿がありました。友達のセリフもしっかり入っており、自信を持って楽しげに演じている姿に、見ているこちらにも楽しい気持ちになりました。

今月はこまや羽根つき、凧揚げなど古くから正月遊びとして遊んできたものをたくさん経験したいと思ひます。毎年名人が誕生していますが、今年もたくさんの名人が誕生することでしょう。表現することが得意な子、運動が得意な子、コマ回しが得意な子など自分の強みをみつけてますます成長していく子どもたちが今から楽しみです。



行事予定

新年子ども会
ポニー教室



中旬 身体計測
避難訓練



懇談会の予定

1歳児クラス
2歳児クラス
4歳児クラス

目黒区立中央中学校の2年生3名が職場体験に来ます。

クラスで盛り上がっていること ～乳児クラス～

「わたしもやってみたい」

1歳児クラス

歌やリズム遊びが大好きなりす組の子どもたち。「きらきらぼし」や「おもちゃのチャチャチャ」などをよく歌っています。ある時、子どもたちに「ホール行ってリズムしよう」と声をかけると「やったーおうまさんする」と嬉しそうにホールに行きます。ピアノの音が聞こえると「〇〇ちゃんお手をつなごう」と友達と手をつないで歩いたり、動物になりきって楽しそうに身体を動かしたりしています。1つのリズムが終わり「次何やりたい」と聞くと「おうま」「とんぼ」「ちょうちょ」とたくさんリクエストしてくれる子どもたちです。その後部屋に戻ると箱をもってきてその上にかまぼこ板を乗せピアノに見立て保育士の真似をしています。それを見て「わたしもやりたい」と隣に箱を持ってきてかまぼこ板を乗せて、「きらきらひかる」や「かえるのうたが」と歌いながら弾いたり、リズムのように身体を動かしたりして楽しんでいます。友達に興味が出てきて手をつないだり、同じ遊びをしたいという姿が出てきている子どもたちです。保育士も一緒に楽しみながら友達と楽しんで身体を動かしたり、再現遊びをしていきたいと思ひます。

「むっくりくまさん、やろう」

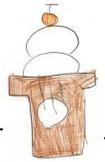
2歳児クラス

園庭やホールで「むっくりくまさん」という簡単なルールのある遊びを楽しんでいます。子どもたちが友達と手をつないで輪になり、くま役の保育士がその中心でしゃがんで寝たふりをします。「むっくりくまさん むっくりくまさん 穴の中」と歌いながら子どもたちが保育士の周りを回った後に「くまさん」と起こし、保育士が「がー」と起きて追いかけます。友達と手をつないで回ることが好きな子や、「くまさんやりたい」とはりきってくまになりきり寝たふりをする子等、何度も遊ぶうちにそれぞれ楽しみ方が見つかってきました。最近では子どもたちから「むっくりくまさんやろう」と保育士を誘う姿もみられます。誰かがむっくりくまさんを始めると「いっしょにやろう」と自然と他の子も集まってきて、気づけばうさぎ組全員で「むっくりくまさん」と歌いながら楽しんでいます。

春から追いかけてをたくさん楽しんできましたが、少しルールが複雑なむっくりくまさんやかくれんぼ等も楽しくなってきました。これからも様々な遊びを友達や保育士と一緒に楽しんでいきたいと思ひます。



クラスで盛り上がっていること ～幼児クラス～



「すごろく作り」

4歳児クラス（赤）

遊びや生活の中で「これなんて読むの」と文字や数字に興味関心をもち喜んで使って遊んでいます。そんな子どもたちは、みんなで“すごろく”を楽しんでいます。ある日「カレンダーの裏紙が欲しい」と言う子がいたので、それを使って何をするのかと見守っていると、日付のマス目を使ってオリジナルのすごろくを作っていました。小さなマス目に字を書きにくそうにしていたので、大きな画用紙を使ってマス目から自分たちで描いていくことにしました。「ここに“1かいやすみ”って書くね」「ここにきたら、スタートに戻ることにしようよ」「クレーンで連れていかれるのはどう」「いいね」「ここにはピザを貼って、“ピザをたべてげんきになった、3すすむ”って書こう」と次々とアイデアが出てきます。「“む”ってどう書くんだっけ」「書けるよ。書いてあげる」と友達と協力したり、字を書くのが難しい子は絵で分かるように描いていきます。すごろくが完成すると、すぐにみんなで遊んでいます。自分たちで考えたルールを教え合いながらのゲームは大盛り上がりでした。最初は2～3人で始めたすごろく作りですが、魅力的な遊びに、仲間に入りたくと次々と友達が参加してきました。友達と思いを伝えながら少しずつ集団が大きくなっていき、遊びが展開してく姿を見守っていきます。



「いくぞ、ビクトリー」

4歳児クラス（青）

“いくぞ、ビクトリー”というゲームが好きな子どもたちです。ホールで活動をする時は全員がやりたいという程、今クラスで盛り上がっています。初めて保育士がホワイトボードと磁石を使ってルールの説明をした時から「分かった。楽しそう」と、ワクワクしていました。鬼の2人は横一本の線の上しか動けず、逃げる子は鬼の線を通して反対側まで行かなければなりません。鬼にタッチをされた子はどんどん抜けていき、残った子がチャンピオンです。タッチされないよう、鬼がいない方に走り抜けたり、なかなか通れない子に戻って助けに行ったりするなど、子どもたちは様々な戦略を考えながら楽しんでいます。時には、鬼の子が「助けに行くのはダメだよ。つまらない」と言って一時中断し「じゃあどうする」と投げかけると「助けに行くルールはなしにしようか」と、みんなで確認をして再開します。タッチされた悔しさから座り込んでしまったり、もうやりたくないと泣いたりしてしまう子もいます。そんな時には悔しさに共感してくれる友達や「そういうゲームなんだよ。次頑張ればいいじゃん」と、励ましてくれる友達があります。そこで、タッチされた子たちが“抱っこタイム”といって、ハグをしながら悔しさを分かち合ったりもしています。“鬼をすればタッチされない”と鬼を選ぶ子もいます。それでもやはり、チャンピオンになりたいという気持ちを持っている子どもたちは、また逃げる方を選び、がんばるのです。クラスの中でルールを確認し合い、こうすれば楽しい、こうすれば勝てるなど、悔しさにも負けない楽しみを見つけながら集団ゲームを楽しんでいます。



「オセロ」

5歳児クラス

今、きりん組では、オセロがブームとなっています。夏頃から遊んでいる姿が見られ、最初はルールを覚え、とりあえずマスに置いてみる、色が変わっていくことが面白いという姿から、現在は一度置いてみて「あ、やっぱり違うところにしよう」と変えている姿が見られ、どうなるかある程度相手の手を先読みしている姿に驚かされます。また、「こっちの方が良いんじゃない」「ここ取っておくといいよ」と対戦を観察しながらどこがいいのか考えて助言する子もいます。勝負を重ね、4つ角を取っておくと良いことがわかってくると何とか置こうと試みる姿もあり、みんなそれぞれに戦略を立てていることがわかります。中には最初は自分の色がなかなか増えず、焦りを見せている姿も見られましたが、周りの助言で置く場所を工夫して、最後は逆転勝ちする子もいます。

ルールを覚え楽しむ姿から、戦略を立てる楽しさや次はどうなるかハラハラドキドキすることを楽しむ姿に変わってきていて面白いです。時々負けて悔しい表情をしている子もいますが、その経験を活かして今度は勝てるようたくさん挑戦しています。いろいろ試しながらますます強くなっていくことでしょう。

